

エッセイ

世界標準の人材育成を

東北大学ティスティングイッシュトプロフェッサー
大学院薬学研究科薬物送達学分野



寺崎 哲也 氏

北里大学大村智特別栄誉教授が「寄生虫による感染症の治療薬発見」の功績によって二〇一五年のノーベル医学生理学賞を受賞しました。年間三億人のアフリカや中南米に住む人達が、大村教授の発見から開発された抗寄生虫薬イベルメクチンを服用することで失明から免れ、「人類のために最大の貢献をした人」として評価されたことは素晴らしいことと思います。薬に関する研究者の一人として心からお慶び申し上げます。

「くすり」と言えば富山というところで私は小さい頃から興味があり、迷わず薬学の道を選びました。薬学は化学・物理学・生物学・基礎医学など理系の幅広い知識を身に着けることができる学際性の高い学問領域です。大学院では興味を持った領域について深く研究することで研究能

力を身に着けることができます。私の研究室の卒業生・修了生は、製薬会社の研究開発職、大学の教育研究職、病院薬剤師、調剤薬局薬剤師、国家公務員、地方公務員など幅広い職場で活躍しており、新薬を開発して小さい頃の夢を実現した人もいます。

出すためには忌憚の無い意見を出し合う場が必要で、それには人種や国の壁を超えた信頼関係が大切です。歴史や文化や生活習慣や考え方の違いを理解しないで忌憚の無い優れた意見を出すことは難しいと思います。現在、私は、フランス、ドイツ、スペイン、フィンランド、アメリカの人達と共同研究を行っています。大学院生だけでなく、一部の学部学生も参加していますが、共同研究の成果を英語で発表討論する経験を通じて自分の姿を知ることが、国際標準の研究者を育成する上で大切な初期教育だと考えています。大学での教育研究において私が大切にしていることがいくつかあります。教科書に書かれていることや常識と言われていることが本当に正しいか疑問に思うこと、原理原則に戻って考える習慣を身に着けること、出来ない理由を考えるのではなくて解を得るための具体的な方法を考える柔軟で太い思考回路を作ること、未開の領域を開拓した先人に敬意を払い勇氣と情熱を持って未知の課題に挑戦する強い精神を育むことなどです。教科書に書かれていることを全て正しいと信じて知識を身に着ける学習とは異なり最初は大きなギャップがあり

す。科学技術立国を標榜する我が国が最も力を入れるべき産業の一つとして新薬開発があります。工業製品と大きく異なる点は、新薬開発には十年以上の時間と千億円以上のお金が必要ですが、大村教授は一つの薬によって人類を救うことができるということを世界の人々に教えました。我が国が取り組むべき課題として、明確な達成目標を設定した開発プロジェクトを推進することは非常に大切ですが、魅力的な研究環境を整え、世界中の優秀な頭脳を集めて世界標準で人材育成を行うことを決して忘れてはなりません。私が学位を取得した頃に比べ、外国留学する人が極端に少なくなっていました。世界の人達と一緒に研究開発しないと世界で通用する薬を開発することができません。良いアイデアを生み

ますが、正しい方向性と明確な達成目標を示すことで各自の能力を引き出して磨くことは可能です。

故郷富山は北陸新幹線の開業で賑わっています。立山連邦の美しい大自然、新鮮な魚介類、豊富な温泉など富山の素晴らしさの数々を多くの方々が知る機会が増えることを嬉しく思います。長い歴史を有する「薬の富山」の基盤を充実させ、素晴らしい自然環境を最大限に活用して優れた人材を国内外から集め、世界に通用する薬が数多く富山から生まれる日が到来することを待ち望んでいます。

プロフィール

寺崎 哲也 (てらさきてつや)

- 一九五五年生まれ。
- 一九七三年八尾高校卒業。一九七七年金沢大学薬学部卒業。一九八二年東京大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)。金沢大学助手、米国UCLA留学、東京大学助教授を経て、一九九六年東北大学教授。薬学の国際雑誌で最優秀論文賞(二回受賞)、日本薬学会賞、日本薬物動態学会賞、日本薬学会賞。二〇一三年春の紫綬褒章。
- 現在、東北大学 ティスティングイッシュトプロフェッサー
- 一九九四年「とやま賞」受賞